

議会だより もろっか

令和2年11月

令和2年 第167号

編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会



もくじ

令和2年度一般会計補正予算	2
令和元年度一般会計決算認定	3
一般質問	4~7
歳入歳出決算に対する質疑応答	8
所管事務調査報告	8
議会活動報告	10

【セツ山小学校最後の運動会】

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 ☎(0982)65-1130

第3回定例議会 令和2年度一般会計補正予算

補正額：1億2300万円

合計34億4800万円

◆一般会計の主な補正内容◆ (単位) 万円

新型コロナ感染対策・7月梅雨前線豪雨による災害復旧経費

「議会」	・タブレット端末導入事業(備品)	165万円
「総務」	・ふるさと納税被災地支援代理受付寄付金	700万円
	・消防施設(川の口地区消火用水管敷設替)整備事業	2,202万円
「企画」	・もろつか光ネットセンター機器更新事業	200万円
	・公民館・集会所等改修事業	145万円
「住民」	・保育所等感染拡大防止対策支援事業	100万円
	・簡易給水施設整備事業補助金	151万円
「産業」	・林業担い手対策事業(補助金)	200万円
	・木質バイオマス供給施設整備事業(補助金)	1,200万円
	・新規林業就労者生活支援金支給事業(補助金)	144万円
「建設」	・道路新設改良事業(工事・単独)	532万円
	・道路維持事業(工事)	2,350万円
	・林業施設災害復旧事業(工事)	250万円
	・耕地災害復旧事業(工事：補助)	800万円
	・土木施設災害復旧事業(工事：補助)	4,200万円
	・土木施設災害復旧事業(工事：単独)	267万円
「教委」	・七ツ山小学校閉校記念事業	411万円
	・運動公園テニスコート改修工事	300万円

◆特別会計の主な補正内容◆

「国保」	・繰越金の確定	1,041万円
「後期高齢者医療」	・繰越金の確定	229万円
「介護保険」	・基金積立金	1,000万円
	・諸支出金	739万円
「簡易水道」	・衛生費	180万円
「公共下水道」	・衛生費	120万円
「診療所」	・総務費	700万円
	・医業費	200万円
「発電」	・総務費	60万円

◆条例の制定等◆

「総務課」	・諸塚村税条例の一部を改正する条例の制定(地方税法等の改正に伴うもの)
	・辺地対策事業に係る総合整備計画について(川の口)
	・諸塚村人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(任期満了に伴う再選)
「住民福祉課」	・諸塚村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(子ども・子育て支援法の一部改正に伴うもの)
「建設課」	・財産の取得について(油圧ショベルの購入)
	・村道の路線認定について(石原バル線)
「教育委員会」	・諸塚村教育委員会の任命につき同意を求めることについて(任期満了に伴う新任)
「診療所」	・財産の取得について(X線画像診断システム)

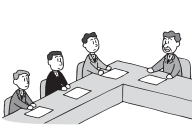


五月会研修会(せせらきの里)

令和元年度一般会計決算認定

令和2年第3回定例会

歳入額 **34億5576万円**
歳出額 **33億1619万円**

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産費	商工費
					
4440万円	4億4633万円	5億1868万円	2億6187万円	7億4344万円	9271万円

★ 特別会計 ★	
会計名	決算額
国民健康保険	3億1772万円
後期高齢者医療	2839万円
介護保険事業	2億3101万円
簡易水道事業	2506万円
公共下水道事業	1466万円
診療所事業	3億5885万円
発電事業	232万円
特別会計合計	9億7801万円

土木費	消防費	教育費
		
3億4964万円	3563万円	2億9753万円
災害復旧費	公債費	
		
2億2169万円	3億427万円	

総括意見

国内では、令和元年10月に消費税が10%に引き上げられ同時に軽減税率制度が実施され、国民生活に様々な影響を与えている。また、中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、世界中に感染のリスクを抱えその対策が急がれる。

本村の令和元年度一般会計決算は、歳入34億5,576万円、歳出33億1,619万2千円で、前年度比歳入5,714万2千円、歳出5,444万3千円減額となり、ともに1.6%の減額決算となった。地方交付税が1,486万3千円減額されるなか、事業の施行不足分を補うため、森林郷創生基金を1億円、社会福祉基金を3,000万円繰入れされる厳しい財政ではあるが、限られた財源のなかで適正な執行により健全な運営を行っている。

そのようななか、森林環境譲与税の活用や福祉職員住宅の建設など各種事業に取り組み、村民の福祉の向上に努めていることは評価されるものである。一方、人口減少に伴い、ひまわり保育所の休園、令和2年度をもつての七ツ山小学校閉校による地域活力の低下が懸念されるが、今後の諸塚村の活性化を行財政運営に期待して総括とする。

個別意見

1. 新型コロナウイルス禍に対する経済対策
2. 人口減少対策
3. 防災対策



決算審査特別委員会の様子

一般質問

今回5名の議員が質問をしました。

①高齢者の熱中症対策について



尾形 浩一 議員

無線で熱中症の注意喚起や予防で数回放送した。今後は設置状況の把握や社会福祉協議会を通じ、寿会や地域包括支援センター、居宅支援事業者と連携してエアコンの使い方の周知や設置を含めて総合的に検討していきたいと思う。



岩本 國和 議員

①人為的要因による災害防止策について

防止策について

西川村長

答 今回の質問である人為的要因による災害防止策については、以前より行政、森林組合、素材生産組合が合同で伐採パトロールを実施し適正な作業を指導して

きた。引き続き県が作成している伐採・搬出ガイドラインを遵守するよう、作業者に対し指導を行っていく。

岩本議員

問 大変難しい問題だと思うがパトロールの重視、パトロールの巡回を多くするなど、今まで以上のご指導をお願いする。

尾形議員

問 夏の暑さが厳しさを増すこの頃、高齢者の熱中症対策としてエアコン設置補助の考えはないか伺います。

一例として群馬県前橋市は、10万円を上限に購入費の9割を市が負担する制度を設けている。

西川村長

答 本年も静岡県浜松市が41.1度と最高気温を更新し埼玉県熊谷市と並びました。

村としても異常高温に対し昼の時間帯や定時に防災



西川 健 村長

岩本議員

問 所管事務調査で村内の災害箇所調査をした。

村道大椎八重の平線での説明では、木材搬出による廃棄物の集積土場が原因で起きた災害で、国県事業は適用できないとのことだった。

村内には似たところが数多く見受けられる。人為的要因による災害を未然に防ぐため、村としてどんな施策があるか伺う。

①高齢者生活福祉センター早期再開について



田原 尚美 議員

田原議員

問 本体であるせせらぎの里の体制が整わないと、

支援ハウスの再開はできないという考えは理解できるが、村民の状況を考慮すると待ったなしのところに来ていると危機感を抱いている。

そこで、支援ハウス独自の職員募集をして早期の再開を図ることはできないのか、村長の考えを伺う。

西川村長

答 介護職員については、これまでに募集も数回防災無線で行ったが応募がなかった。今後も引き続き美郷町や椎葉村の運営要綱等を考慮に、利用対象者の基準や職員の配置などを専門部会で協議を行い、運営体制の構築とせせらぎの里と一体となった人材確保に努めできるだけ早めの再開を目指す。

田原議員

問 そこに施設がありながら利用ができない、諸塚村で生まれてここを終わの棲家として終末を迎えたいと言われる方々が高齢者になってふるさとを出て行かざるをえないという悲しい状況である。

諸塚村は平成22年から3年間レディース福祉講座で認知症サポーターを育成された。もう一度その方たちの掘り起こしはできないか。

西川村長

答 サポーター要請、その辺りの掘り起こしも必要で

あろうかと思っているの
で、関係課、関係機関と、
しっかりと検証しながら進め
ていく。

田原議員

問 介護の現場は女性に限らず、男性でも支援ハウスの見守りはできると思う。そういう考えで、広く募集していただきたい。

西川村長

答 住民福祉課長と私は、男女を問わずという話はしている。

現に特老は当直分は男性2名でやっていただいているし、むしろ逆に頼もしい部分もあると思う。



①道路維持管理の在り方と 事故補償の充実について



甲斐 光徳 議員

甲斐議員

問 本村の道路は、昭和30年代の拡大造林と共に作業道開設が急激に実施され、林業立村を掲げる本村の礎となる森林理想郷が作られた。林道・村道へと昇格し行政・村民一体となり道路整備・維持管理が行われてきたが、人口減少による時代の流れと共に道路維持管理体制に大きな支障を生じ、近い将来重要な問題と考える。

ある程度の公費負担も視野に入れる維持管理体制も求められるが村長の見解を確認したい。

又、公共道路の維持管理を行う際に、時には重大な

事故も発生し、事故に対する補償の充実も求められる。安心・安全を再優先する公共道路の維持管理に対する補償についての見解は。

西川村長

答 人口減少と高齢化の進展により、維持管理作業が地元の大きな負担となっていることは村全体の大きな課題である。自立する村という観点から、今後もある限り地元の力で維持管理にと取り組んで頂きたいと考えているが、過度の負担は避けなければならぬ。今後は、森林環境譲与税を財源として、外部委託の拡充を図るほか実施時期を平準化し、労働力の分散化を図り村民の負担を軽くしていきたい。

事故補償については、全ての村民が加入する自治会保険からの補償があるが、村外の方は対象外となっている。今年不運にも村外の

方の事故が発生したため、一斉清掃に備え村外の方における傷害保険を掛けたところである。今後内容をつけて対応できる分は検討したい。

甲斐議員

問 後継者不足や高齢化により作業が困難であるために、地域に迷惑を掛けないように近隣市町村に住む息子が帰省し作業従事する傾向が多くなってきた。作業に対する安全対策を取りつつも、事故はいつ何処でどのような形で発生するか不透明である。公共道路の維持管理体制から事故に対する補償は村行政で検討すべきである。

西川村長

答 作業はあくまでもボランティアであって、保険も十分に満足する内容であるか問われるところである。ある程度自己責任でやるべきであるが、行政がどのような場所に補償とかできるか研究し、前進できればと考える。

② もろつか光ネットの運用・活用と通信インフラの方向性について

甲斐議員

問 新型コロナウイルス感染拡大で、社会変革が加速し働き方が多様化する等急激な時代変化に突入している傾向にある。

終息後の新しい生活様式で「IT」が生活やビジネスを変える推進力になる中で、時代に遅れることなく、新たな時代に即した地域コミュニティ施策、活性化等について検討する時期といえる。

幸いに本村では、もろつか光ネットが整備され、独自の自主放送も可能であるが、その施設が今までに活用されていない。

多様な情報を積極的に且つ分かりやすく発信することが、共有・共感と関心を与える地域ネットワークの形成が必要である。

既存施設の有効利活用と、新たな通信インフラ整備を同時に検討していく新たな時代になる中で、その

見解と方向性を確認したい。

西川村長

答 平成22年度に地上デジタル放送対策事業として整備した、もろつか光ネットは村全体の地デジ放送の共聴施設としての機能と、インターネットによる情報通信の媒体としての機能で活用されている。

又、情報通信網としての機能を充実して、避難施設及び観光施設の公衆無線LAN等を低コストで運用し、リモート会議も有効活用している。

又、諸塚村の自主放送番組の制作に関しては、スタジオ、カメラ、編集機器の整備、運営の人員に多大な経費が必要であり現時点では厳しいと考える。

但し、既に編集・録画された映像を流したり、文字情報による自主放送は積極的に進めて行きたい。

甲斐議員

問 今回、諸塚の独自放送が11チャンネルを使い実施されたが、宅内のテレビへの接続調整が整備されている家庭と、そうでない家庭があり、多くの方が見られない状態であった。導入整備された時点で接続に対する説明と理解が不足であるのも事実であるがために、このような事態が発生した。接続経費が5千円から1万円で可能であると聞くので、公的負担も含めて接続を促すことも必要。

村民全てに情報が提供できることは、無駄な投資でなく生きた経費と考える。更に2年度は、光ネットの更新で事業者も決定しているの、一方通行の情報提供となるが事業更新の中に取り入れてもらいたい。

西川村長

答 今回の事業で機器更新に新しい機能を加えると大きな投資が必要だが、PCソフトでできる編集等の機能を活用しながら村民に有益な情報を伝えるシステムにしていき、ハード面に頼らずソフト面で何とかできないか考えたい。

① 災害対策について



梅田 義輝 議員

梅田議員

問 国道327号線沿いの諸塚交通事務所から諸塚Aコープまでの区間のロックネットの設置など災害予防はできないか、お伺いする。

せせらぎの里は、輪中提が完成しているものの、まだまだ安心・安全とは言えない。

ない。いわゆる垂直避難は考えられないか、お伺いする。

西川村長

答 諸塚石油裏のロックネット対策工について、国庫補助事業では採択がいつになるか分からないため、県単独事業、自然災害防止治山事業で要望したら良いのではないかと、いうアドバイスをいただいております。今年度要望を行うこととして、順調にいけば早期に対応したいと考えています。

せせらぎの里は、全区間では特老付近が擁壁の高さが8・5m、川床からは擁壁の天端は10・94mということと約11mと、一番高い場所となること、それから九州電力のダム改修により河川側の災害対策が整ったことや対岸の山腹工事も整備が完了しており、改修前よりも河川の氾濫等による災害リスクは低減されていると思っています。

②人口減少対策1

道路法面の高所草刈り

機導入について

梅田議員

問 安全性や人手不足対策としても有効と考える。導入について検討をお願いしたい。

西川村長

答 高所草刈り機は、ご提

案いただいた機種以外にもアタッチメント方式の草刈り機があるようなので、建設課重機班を中心にデモ機などでの確認をし、有効な機械であれば導入を検討する。

④人口減少対策3

移住・定住者への山林の

譲渡について

梅田議員

問 山林を持たない移住・定住者に対し、村有林の一部1ヘクタール程度以下の山林を無償譲渡してはどうか、提案したい。無理であれば、借地としてでも良いが、離村するときは元に戻すことが条件だが。

都市部から移住してくる

人たちは、諸塚村の山々に魅力を感じている。この施策を実行することで、更に山への愛着を感じるとともに、村民の一員であるという意識も強くなると思うが。

西川村長

答 ご提案の村有林であれば、すぐに収入につながる林齢の山林か、植栽や下刈り作業が体験できる山林か、公園的な観賞用の山林か、または山林の形態に係なく権利のみを譲渡するかなど様々な形があると思

う。

一つの案ではあるが、既に村外から定住している方に対し意見を聞きながら、この取り組みを行ってみるのもよいかもしれない。

また、転出や高齢化、後継者がいないなどの理由で民有林を手放したいという話も聞いている。林地の村外移動防止の面からも、移住・定住者がそのような山林を購入した場合に林地取得資金への支援も今後検討していく必要があると考える。

人口減少問題は本村の大きな課題であるので、その対策の一つとして今回の提案の取り組みについては関係者の意見も聞きながら検討したいと考えている。

人口減少対策 特別委員会報告書 が採択される。

定例議会最終日に人口減少対策特別委員会報告書が提出されました。

本委員会は、昨年9月に設置され、計14回にわたる会議を始め常任委員会と合同の調査、有識者との意見交換会等を実施し作成されたものです。

医療・福祉、産業建設、教育、交流人口・関係人口、財政状況に関しての提言とコロナ禍への対策を講じることにより、林業立村の理念である持続可能な社会の実現を目指すというもので、全員の賛成により採択されました。

③人口減少対策2

ピザ店の開設について

梅田議員

問 大分県でワイナリーとピザを経営しているある社長に実情を話し相談したところ、村おこしであれば全面的に協力できるとの返事をいただいている。ピザは味が勝負を決めると言われているが、味が保障できると同時に、社長の人柄も信頼できる。新規事業としてまたとないチャンスと思うが、村長の考えを伺いたい。

西川村長

答 よい講師の方がおられるようなので、ご紹介いただければ、ぜひ手始めに興味のある方に声かけした研修会は可能である。その後、実際の取り組みをした方が出れば、その支援を行政が行うことが一番良いと思う。

歳入歳出決算に対する質疑応答

(総括質疑)

で、屋内外含めて確認しているかと、担当に聞いているが、今後注意をして、十分点検をして入居していただくということに徹底したい。

(質疑)

④ふるさと納税について (中田)

今後のふるさと納税のありかたについて、考えを伺いたい。

(総務課長)

昨年度は、インターネット窓口を増やしたが、思うように伸びなかった。返品品も地元のもので3割以内ということで総務省から来ている。

宣伝もしているが、その効果についても疑われるところもあるので打開策がない。返品品について新しいものを開拓してとは思っている。難しい問題ではあるが、努力はする。

(村長)

返品品について、色々検討はしているが、今の返品品を中心に展開せざるを得ない。今後の検討課題になろうと思う。

(質疑)

⑤上下水道について (山本)

歳出に対して使用料が少ないように思う。応分かもしれないが値上げなど検討しないで良いのか伺いたい。

(住民福祉課長)

水道料の値上げも数年前に行っているし消費税も10%なり、これ以上の負担は厳しいということで、今は検討していない。市町村課からの指導について指摘があるので、関係者と今後検討したい。

(質疑)

⑥黒岳森林生態系確保事業について (岩本)

シカの食害により、中々守ることが難しいようだが、この予算で対応できるのか伺いたい。

(企画課長)

シカネットを二重にして保護はできたようですし、見回りを強化しながら、守れる部分をできるだけ広げていく形しかないので思っている。予算も確保しながら、守れる対策をとりたいと思っている。

そこが聞きたい

(質疑)

①今後の行政運営について (甲斐)

決算は、予算の趣旨と目的に沿って適正に効率的に執行され、行政効果が発揮され今後の行財政運営にどの様に改善、工夫がなされるかどうかである。

事業執行の責任者である村長の考え方として、投資効果の薄い事業についての見直しを図ると発言したが、具体的にどのような事業に対して成果と効果が薄かったのか、どのように検証していくのか、改善施策としてどのように進めていくのか伺いたい。

(村長)

村民の皆さんに喜びと価値あるものを提供できるか、基本的なもので取り組んでいる。

公民館からの要望事項をつぶさに確認し、偏ることなく村民の付託に応えていき、総合的に産業振興から生活、福祉、医療全てに十分とは言えないが、成果は出てきていると思うが課題も多くある。今まで培ってきたものをしっかり守りながら、新たなものにも挑戦していくという姿勢である。

(質疑)

②住宅管理について (田原)

村外に転居したあと、畳替えの請求書が届いた。諸塚村はフローリング化を始めているのに畳替えの支払いをしないといけないのか。

(村長)

フローリング化していけば畳の表替えはしなくて良い。住宅リフォームと併せ、退去の時も負担がないように進めていきたい。

(建設課長)

基本的に自分たちが住んできた畳については、確約書のとおり請求書を出させていただく措置をとっている。

(質疑)

③村営住宅退去の際の清掃について (田原)

新しく住宅に入られる方に気持ちの良い住宅を提供するのが基本。住宅退去後、次に引き継ぐ場合の行政の対応は、きちんと確認ができているのか。

(建設課長)

退去の前には、前に住んでいた方が責任をもって清掃して引き渡すこととなっているが、ひどい場合は再度注意喚起をしている。

(村長)

退去・入居のとき、申請書が回ってくるの

(総務課長)

2月、3月もありましたが、どちらかと言うと、4月以降が行事の中止が多いので、予算的には令和2年度の予算に影響されると思われる。

(質疑)

⑨コロナによる減額予算の活用について (梅田)

コロナの影響による減額予算処理について、社会が高度化し生活様式も変わっていくと、勉強しなければならない部分が多く出てくると思うので、専門的知見でそのような先方呼んでの勉強会も大切だと思うが、それについて伺いたい。

(村長)

勉強会、講師を呼んでということも制限されており、マイナス影響が多くて、踏ん切りがつかない状況である。停滞するわけにはいかないので、状況を見ながら対応していこうと思っている。3密をさけ、マスクの着用、消毒とかに努めながら取り組んでいかなければならないと思っている。

(質疑)

⑩決算監査意見書の中で、ウッドピア諸塚に対する対応について (梅田)

決算監査意見書の中に、補助金等財政的援助している団体であるウッドピア諸塚が記載していないのはどうしてか。

(代表監査委員)

初めて聞いた話であり、今後検討させていただきます、後日報告する。

そこが聞きたい

(質疑)

⑦教育行政における社会教育について (甲斐)

新型コロナウイルス感染拡大により、経済的影響は勿論、人と人との接触機会も大幅に制限されるなど地域を取り巻く環境も大きく変化をしてきている。本村においても行事等が余儀なく中止や縮小され、村民同士の触れ合う機会も大きく減少している中で、村行政と自治公民館の連携は諸塚村の社会教育の原点であり、様々な行事を通して村民の研修の場であると捉えることができるが、そのような中で行事の見直しを含めた社会教育のあり方について大きな変換期だと思うが、その方向性と考え方を聞きたい。

(教育長)

公民館活動は社会教育として大事である。コロナの影響で中止が重なってきているが、できるだけ復活の方向で考えている。今後については、感染状況を踏まえ、随時検討していくが、一つの方法として遠隔、オンラインでの会議、研修も必要と考える。実際に人と人が触れ合うことが重要だと思うので、感染しないような環境を整えながら、少しずつ機会をつくっていくことも考えている。

(質疑)

⑧コロナの影響による減額について (梅田)

令和元年度の決算について、コロナによる減額された金額がどのくらいなのかお聞きしたい。

所管事務調査報告

総務・産業建設常任委員会

令和2年8月18日実施

今年は7月豪雨による、村道大椎吐〜八重の平線の法面崩壊と宮の元水源の山腹崩壊の2か所と川の口地区耕地災害(復旧工事申請中)の状況を視察した。また現在村内で

物量の増加や付加価値の向上につながると考え、と今後の継続と必要性を改めて感じたところである。

宮の元水源地線の山腹崩壊に関しては、人的要因による発生で村の単独事業となる説明を受けた。現在の面積の伐採や搬出方法を見ると災害が起きかねない状況である。村単独事業になると、財源にも少なからず影響してくると思われる。条例の制定も視野にご検討を申しあげ報告とする。

執念さえも感じた。同時にこの事業により経済の効率化が図られ、林産物の



議会活動報告

月	日	行 事 名	参加者	場 所
8	6	議会全員協議会	全 員	役 場
		人口減少対策特別委員会	全 員	役 場
	12	議会運営委員会	全 員	役 場
		令和2年第1回臨時議会	全 員	議 場
	18	連合所管事務調査(災害状況調査)	全 員	村 内
		五月会研修会(自公連)	全 員	中央公民館
	19	郡町村議会議長会	議 長	日向市
9	20	人口減少対策特別委員会	全 員	役 場
	2	議会運営委員会	全 員	役 場
		議会全員協議会	全 員	役 場
	9	令和2年第3回定例議会(～18日)	全 員	議 場
	10	決算審査特別委員会	全 員	役 場
	11	決算審査特別委員会	全 員	役 場
	14	決算審査特別委員会	全 員	役 場
	16	決算審査特別委員会(とりまとめ)	全 員	役 場
10	18	第3回定例議会本会議(最終日)	全 員	議 場
	28	入郷地域開発期成同盟会要望活動	議 長	宮崎市
	6	議会運営委員会	全 員	役 場
		令和2年第2回臨時議会	全 員	議 場
	9	連合所管事務調査(自伐型林業研究会)	全 員	延岡市
	16	林活議連総会・勉強会	梅田議員	宮崎市
	19	市郡議長会要望活動	議 長	宮崎市
	23	五月会研修会(商工会)	全 員	中央公民館
	26	広域連合議会運営委員会	総務常任委員長	日向市
	27	国道503号期成同盟会要望活動	議 長	宮崎市
	29	県町村議長会臨時総会	議 長	新富町
	30	連合所管事務調査(銀上学園)	全 員	西都市



延岡自伐型林業研究会



災害状況調査



随 想

「強力な助っ人」

甲斐 光徳

椎茸原木の枡おろしが始まり、今年は6万個の予定であり、昨年度よりも収穫量が多くなることを楽しみに作業にかかる。ところが枡に異変がある。活着状態が悪く、1/3は廃棄である。鉋で皮を剥ぐと黒くなっている。中には虫(カミキリムシ?)が入っている物もある。原木は飯干峠の上長谷の村有林の原木が届いている。年輪が詰まっており、標高の高い所の原木は活着が厳しいのだろうか、それとも伏せ込みに不備があるのだろうか、原因不明であるが原因究明をお願いしたいと思う。

楽しみが半減すると、仕事意欲も半減し気持ちさがだらだらする中で、三股に住む長男が帰省し作業の手伝い。一人でする作業が2倍も3倍も捗る。有り難いと感じる。今は若いと感じているが早めには継者として継いでくれたらと願う気持ち有一段と強く感じた一日であった。

編 集 後 記

今年は新型コロナウイルスの影響で、大勢での行事がことごとく中止になり、皆さんもストレスがたまっているのではないのでしょうか。こういう時こそ諸塚村民の持ち前の団結力を発揮して、新型コロナウイルスに負けないように、立ち向かって行こうではありませんか。

さて、今回の議会ですが、令和元年度の決算審査と令和2年度の補正予算が主に行われました。諸塚村の台所事情を知っていただきたいと思います。(山本)

(編集委員) 山本多喜弥 尾形浩一 甲斐光徳 田原尚美

議会傍聴して みませんか？

次回の定例会は12月8日(火)
開会予定です。

心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局

TEL 65-1130